クリーニング業界誌
全ドラ　平成25年2月1日号

# 利益アップへの省エネ対策

## ボイラー燃料に添加剤、燃費が大幅に向上

〈ECOMAX〉

## 重油・灯油コスト、15%削減へ!!

### 既存設備のままで効果実証

いまクリーニング業界は全国的に見て、燃料高騰や電気料金値上げなど経費が上昇しており、経営環境はさらに厳しくなっている。売上も思うように伸びない状況で、いかに利益を確保するか?現場ではコスト削減へ様々な取り組みが進む。その中で、石川県の㈱松本日光舎（本社・金沢市、松本健夫社長）では、ボイラー重油の燃費向上に燃料添加剤を採用。その効果を実証した同社では、同添加剤の販売も手がけることになった。

石川県金沢市 ㈱松本日光舎

### 生産を効率化 省エネも推進

松本日光舎は、大正14年創業の老舗で、金沢市を中心に「ロイヤルクリーニング日光舎」のブランドで46店舗＋外交20ルートを展開。グループ会社には日光リネンサプライ㈱、日光商事㈱、㈱ユニフォームレンタル金沢がある。創業から88年という長い歴史と高い品質で顧客から高い信頼を得て成長する同社は昨年も、売上、利益とも着実に伸ばしている。

その利益アップの大きな要因としては、やはりコストダウンが挙げられる。現場リーダーである宮崎久一工場長、北川貴章工場長を中心に、工場の合理化に取り組んだ。高品質・高生産の機械を導入して生産を効率化し、資材は汎用品の採用や適正数の発注によりコストダウン。また、従業員一人一人に省エネ意識を植え付け、エネルギーコストを低減させていった。そして、昨年秋から始めたのが、ボイラー燃料（A重油）の削減策である。

### 開始2ヵ月目は18・5%減に

日光舎が採用したのは、群馬県・㈱ビーイング製の燃料添加剤「ECOMAX（エコマックス）」。元は自動車販売修理業を営む同社が、車の燃費向上に向け自社開発したもので、ガソリンのほか軽油や灯油、重油にも高い効果を発揮することから、ボイラーを使用する温泉施設やクリーニング工場等を対象に業務用にも製品化した。

燃費向上の原理として

▶作業は重油タンクに適量を添加するだけ

松本健夫社長

◀ボイラーは1tが2基（稼働13年目）

は、石油系燃料は時間が経つと酸化して分子の結合レベルが大きくなり燃焼効率が低下するのだが、エコマックスにより燃料内の炭化水素の分子を細分化かつ再結合を防ぎ、表面積が増えた状態（精製直後に近い状態）にして燃えやすくするのだという。原料は100%石油のため、機械のダメージはない（万一の損害についても生産物賠償責任保険で補償される）。

エコマックスは、給油時に毎回添加する。初回は給油量の1千分の1、以降は2千分の1が適量（量が多すぎても効果が発揮されない）という。

知り合いの紹介で自分の車にエコマックスを添加し、燃費向上を実感していた松本社長は、エコマックス重油用を工場のボイラー燃料にも採用することにした。現場は半信半疑だったようだが、地下タンク（通常4キロL）への給油時（月約3～4回）にエコマックス2Lを添加した（ボイラーは1t×2基）。

添加を続けて4ヶ月。実際、どれほどの効果があったのだろうか?同社では各月の重油使用量をボイラーの平均稼働時間で割り、時間当たりの重油使用量を算出して前年との比較を行った。

添加を始めた昨年9月は、重油1万1400Lを使用し、2基のボイラー平均稼働時間は149・5h。時間当たり重油使用量は76・2Lとなり、前年同月の84・9Lから10・0%減少する結果が出た。さらに、10月は前年の86・0Lから70・0Lへと、前年同月から18・5%もの大幅削減となり、ボイラーにおける燃費向上・燃料削減効果を実証した。

ただ、3ヶ月目の11月は6・0%減に留まり、削減率は低下したが、松本社長は「11月は前年より、かなり忙しかった」ことを要因に挙げる。同月の売上は前年比107・9%と好調だったことで、ボイラー燃料の消費も多くなったようだが、宮崎工場長は「我々にとって重油を5%でも削減できれば、コストメリットはかなり大きい。最初はあまり期待していなかったが、3ヶ月トータルで10%以上も減って驚いている」と語る。

### 松本日光舎が全国販売へ

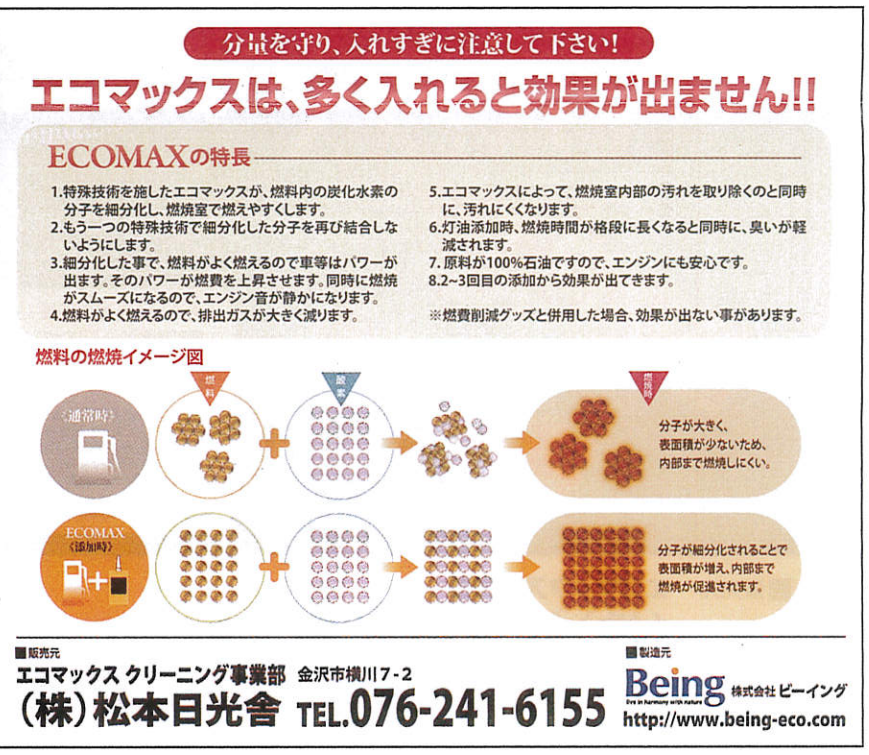
同社では、重油に年間1200万円もの経費がかかっている。ここからエコマックスのコストメリットを試算すると、エコマックスの経費（年約30万円）を差し引いても、重油10%削減で116万円、同15%削減なら190万円、20%削減で264万円のコストダウンとなる。

松本社長は「他業種の事例でも15～20%の削減実績があり、当社での経過からいっても、15%削減は十分に見込める」とする。これを達成すれば、約200万円の利益アップにつながることになる。売上増→利益アップが容易でない今、設備投資もなくエネルギーコストを低減させるメリットは大きい。

エコマックスの性能を確認した同社では、このほどメーカーと特販契約を結び、クリーニング業界の窓口としてエコマックスの販売を展開していくことになった。松本社長は「重油・灯油や電気等のエネルギーコストは今後さらに上がっていく可能性が高く、クリーニング工場も省エネ対策に取り組んでいかないとコストアップは避けられない。エコマックスは、当社で実際にテストを行い、しかも既存設備のまま効果が出ているので、同業他社でも喜んでいただけるはず」と語る。

また、ボイラーの重油や灯油の燃費向上と使用量削減は、$CO_2$排出削減にもつながることから、「コスト削減とともに環境に優しいクリーニングに、当社と一緒に取り組んでいただける会社（モニター）を募っていきたい」としている。

※エコマックスについての問合せ先＝㈱松本日光舎エコマックス・クリーニング事業部TEL076・241・6155。

### 好評の『凛』倍増

松本日光舎の本社敷地内にはドライブスルーの本店のほか、高度なシミ抜きで知られる、きものトータルクリニック吉本（本社・京都市、新井修社長）の金沢店がある。同社では吉本とのコラボにより、別次元の修正技術サービス「凛」を、『魔法を見せます日光舎』として打ち出し展開している。顧客に浸透してきた昨年は、きものの染め替え、バッグのリフォーム等が伸び、凛の受注が倍増したという。きもの文化が根付く金沢において同サービスは好評で、同社の顧客層にもマッチし、喜ばれているようだ。